

博物館だより



No.141

平成30年8月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666
FAX 0930-33-4667

◆博物館NEWS

①夏の企画展 松田勝弘昆虫コレクション

みやこと世界の昆虫展

会期：7月22日(日)～8月31日(金)

◆主な展示内容

みやこ町在住の昆虫研究家・松田勝弘氏が、ライフワークとして採集した昆虫標本約80箱を当館研修室で展示します。国内外の昆虫がもつ強さや美しさを感じる展示となっています。是非ご覧下さい！



▶モルフォ蝶

●観覧料 大人 200円

●観覧料 高校生以下 100円

●観覧料 (団体20名以上) 料金あり

●開館時間 9:30～17:00

●開館時間 (入館は16:30まで)

●休館日 期間中の月曜日

②「ふるさと遺産」の力作募集！ 「文化のみやこづくり」記念

絵画・作文コンクール作品募集！

博物館では京築地域に在住・通学する小・中・高校生を対象に、ふるさとの歴史と文化の魅力を表現する絵画・作文のコンクールを行います。

絵画は「わたしの町の過去・現在・未来」の姿をテーマに、作文は「歴史」をテーマに募集します(歴史に関する話題であれば内容は自由。ただし、作文は小学5・6年生のみ対象)。

詳しい応募方法は博物館(☎33-4666)までお問合せ下さい！



▲29年度の絵画コンクール・グランプリ作品 わたしの町の過去部門「みやこまちのかぐら」(豊津小学校 田中 夢さんの作品)

◆講座教室・催し物ガイド 8月の歴史講座

【漢詩紀行講座】

8月4日(土) 9時30分～

【古文書講座】

8月11日(土) 10時～

【古典かな講座】

8月18日(土) 9時30分～

【みやこ学講座】

8月25日(土) 10時～

※日程等変更となる場合があります。
※見学会等は別途ご案内します。

博物館夏休み企画 参加者募集！

①昆虫展ギャラリートーク

「みやこと世界の昆虫展」で展示中の昆虫標本について採集者の松田勝弘氏より詳しく解説していただきます。

参加フリーですのでお気軽にご参加下さい！

・日時 8月19日(日)

・会場 博物館ロビー

②「鉱物標本」を作ろう！

・日時 8月19日(日)

・会場 博物館ロビー

・参加条件

＊町内在住の小中学生。電話による事前申込の先着40名のみ参加可。

＊低学年(1～3年生)は、保護者の同伴が必要です。

＊兄弟姉妹の参加者で、未就学児同伴の場合、託児も可能です。申込時にお申し出下さい。

6月の業務日誌から

6月9・10日(土・日)の2日間、博物館をラリーポイントにした「みやこ検定クイズラリー」が行われました。解答用紙片手に「答えはどこ？」といった皆さんで大いに賑わいましたが、結果のほうはいかがでしたか？

6月15日(金)、育徳館中学校1年生120名の皆さんが「地域学」の取組として学校内外の史跡見学を行いました。学校内外が歴史遺産豊かな地であることを学び、地域に関心を深めていただけたようです。



▲博物館も地域学の取組をお手伝い 皆さんお疲れ様でした！



▲この日は真剣な見学ぶりの親子が多いのが印象的でした

みやこの歴史発見伝 109
よしだますぞう
吉田増蔵(その三)

「今上天皇の「称号・名前」と「開戦の詔書」

「昭和」の元号考案者として知られる吉田増蔵ですが、他にも天皇陛下や皇室等に係わる重要な業務に携わっています。今回はその一部をご紹介します。

今上天皇の称号・名「継宮明仁」

天皇陛下を含め、皇室の一部の皇族は苗字ではなく「称号」が用いられます。現在の天皇陛下（今上天皇とよばれる）の「継宮明仁」という称号・名前は、吉田増蔵によって考案されたものです。皇族の称号も元号と同様に中国の古典などの書物を参考に作成されますが、この称号・名の典拠として「周易」の「大人以継明、照于四方」の「継」「明」が引用されています。「大正」に次ぐ元号の草案として「昭和」を含めて考案された10案の中に「継明」という元号(案)がみられますが、この元号(案)も同じ典拠から考案されたものであり、この漢字二文字に込められた吉田増蔵の「想い」を感じることが出来ます。

改めてみやこ町出身者が考案した称号をもつ天皇陛下であることを考えると、陛下の退位について

は、非常に感慨深いものがあります。「開戦の詔書」の起草

8月の終戦記念日は各地で慰霊祭等が行われますが、その発端となった開戦の詔書「米国・英国に対する開戦の詔書」も吉田増蔵が起草したものです。

吉田増蔵は開戦前から重い胃潰瘍を患っていましたが、開戦の詔書、勅語作成という職務を託され、増蔵は痛みに耐えながらその重責と向き合うことになりました。最終的に、枕元まで役人が来て資料を読み上げ病床の上で内容を考え、それを書き写すという作業を行って詔書が完成したと伝えられています。戦争が始まった後も詔書・勅語が次々と発せられることになり、病床でありながら多忙を極め、その無理がたたり、吉田増蔵は日米開戦の11日後に亡くなります。

「昭和」という世界平和の願いを込めた元号の考案者として、激痛に耐えながら、元号の願いとは裏腹にこの詔書の起草に携わざるを得なかった吉田増蔵もまた、戦争の犠牲になった一人といえます。

【井上信隆】



▶故郷、勝山上田にある大分八幡神社鳥居の側面「宮内省御用掛」吉田増蔵の名が刻まれている。

博物館おすすめの逸品レポート

Vol.26

この展示(& 収蔵資料)ココが見どころ、ココがツボ!!



- 資料名 生活文化(戦時下/軍事)資料 1式
- データファイル 法 量: 軍衣および付属品ほか2点 製作年代: 昭和19(1944)以降 ポイント: 軍歴表に記される 苛酷な配属歴 公開状況: 保存・収蔵用資料として現在は非展示

memo

この資料は、故人に軍歴があるという犀川地区にお住まいのご遺族から寄贈されたもので、一見よくある在軍中の記念遺物かと思われましたが、中身を調べるうち、故人の苛酷な軍隊生活とともに先の大戦末期の戦況を窺わせる資料と分かり、思わず襟を正して頂戴したものです。

資料は大きく①軍衣及び付属品②軍歴表③写真(海軍航空隊在籍中の



▲資料の全景。中央を境に左側が軍歴表や写真。右側が軍衣となる。写真は入隊記念や配属先(松山海軍航空隊)での同期の集団写真、右の軍衣は、ボタンや肩章が取り外されている。

もの)の三種からなり、それぞれに簡単な由来が伝えられていました。

①軍衣は海軍予科練生の冬服で、軍歌にも歌われた「七つボタン」が特徴の、緒戦期には憧れの的だったものです。この制服を纏った故人は、戦況が悪化した昭和19年4月に志願兵として入隊。予科練生として訓練に明け暮れました。そのことは②・③の軍歴表や写真で分りますが、そ

▼故人の軍歴表。履歴部分(空白帯で3分割される罫線枠の左二つ)のうち、左側が昭和20年のもので末尾付近に「特攻兵器講習員トシテ海軍対潜学校二派遣ヲ命ズ」とある。

年	月	日	場所	内容
昭和19	4	1	松山海軍航空隊	入隊
昭和19	4	15	松山海軍航空隊	同期生写真撮影
昭和19	4	20	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	4	25	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	4	30	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	5	1	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	5	5	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	5	10	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	5	15	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	5	20	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	5	25	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	5	30	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	6	1	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	6	5	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	6	10	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	6	15	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	6	20	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	6	25	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	6	30	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	7	1	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	7	5	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	7	10	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	7	15	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	7	20	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	7	25	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	7	30	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	8	1	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	8	5	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	8	10	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	8	15	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	8	20	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	8	25	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	8	30	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	9	1	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	9	5	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	9	10	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	9	15	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	9	20	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	9	25	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	9	30	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	10	1	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	10	5	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	10	10	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	10	15	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	10	20	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	10	25	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	10	30	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	11	1	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	11	5	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	11	10	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	11	15	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	11	20	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	11	25	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	11	30	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	12	1	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	12	5	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	12	10	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	12	15	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	12	20	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	12	25	松山海軍航空隊	訓練
昭和19	12	30	松山海軍航空隊	訓練

の経歴は20年に至り激越化します。
・20年3月 宇佐航空隊(大分県)へ派遣。同地で複数回の空襲に遭遇。
・20年5月 特攻兵器「伏龍(人間機雷)」の要員に指名されるも、拙劣な兵器ゆえに訓練中、事故死する仲間が相次ぐ惨劇を体験。生還した故人は、生前これを詳しく語らなかったとのことですが、資料が代りに静かに物語ってくれているようです。

お詫びと訂正

「逸品レポート」Vol.25で「昭和18〜23は山笠奉納が中止とあったのは「昭和18〜22」の誤りでした。確認が不十分でした。ここに訂正してお詫びいたします。